

日本独文学会機関誌投稿要領（新）

（2016.1.30.の日本独文学会理事会で承認された新編集方針に基づき 2016 年度から適用）
（2018.9.28.の日本独文学会理事会の決定により，ドイツ語論文のレジュメに関する規定を追加）

（2022.5.6.の日本独文学会理事会の決定により，マルジナリアの分量に関する規定を変更）

（2023.5.6.の日本独文学会理事会の決定により，投稿に関しての規定を変更）

（2023.7.22.の日本独文学会理事会の決定により，申し込みに関する規定を変更）

（2024.1.20.の日本独文学会理事会の決定により，執筆分量に関する規定を変更）

機関誌「Neue Beiträge zur Germanistik ドイツ文学」のいずれの分冊にも，原則として，特集テーマ関係論文，投稿論文，研究ノート，研究文献概観，マルジナリア，フォーラム，書評，新刊紹介，書誌のジャンルで掲載される。（ジャンルの説明は V を参照）新刊紹介は国内刊行誌にのみ掲載される。論文以外の投稿については，テーマや各ジャンルの本数を調整する必要があるので執筆希望の旨を投稿以前に編集委員会に知らせること。

I. 投稿資格

原則として日本独文学会会員に限る。

II. 投稿

- 1) 締切日（到着日基準）：国際誌 3 月 15 日，国内刊行誌 9 月 15 日とする。欧文によるものは国際誌・国内刊行誌，和文によるものは国内刊行誌のみへの掲載となる。
- 2) 締切日以降に到着した投稿原稿は，原則として次の締切日以降初めて開かれる編集委員会での審査対象となる。
- 3) 投稿に際しては，下記第 IV 項の全条件および第 VI 項に掲げる執筆枚数を遵守した原稿を送付すること。
- 4) 原則として，同一年度内に複数の論文及び研究ノート（書評，マルジナリア等を除く）を投稿することはできない。
- 5) 本機関誌に掲載された原稿は，国際誌については刊行と同時に，国内刊行誌については冊子刊行の 1 年後に電子ジャーナル化されるので，投稿原稿は，電子ジャーナル化の上，公開されることを了承したものと見なす。
- 6) 投稿に際しては，原稿本文とレジュメ（IV の 2 で必要とされているジャンルのみ）を無記名でひとつのファイルとする。また本文中でも，執筆者の特定につながる表現は避けること。投稿は原則として所定のメールフォームから行い，指定された必要事項を申告すること。その際，以下の（a），（b），（c）に留意すること。なお，図版の挿入がある場合は，それぞれの図版を別ファイルで添付・送付する。図版等使用の際，著作権所有者の同意が必要な場合があるが，それは執筆者自身が確認し，許諾を得ておくこと。
 - （a）投稿原稿タイトル（和文の場合はドイツ語タイトルも），氏名（アルファベット表記も併記），連絡先住所，郵便番号，電話番号，メールアドレスは，審査，採否の結果，書き直し依頼，校正ゲラ返送などの連絡に必要である。なお，こ

の住所とメールアドレスは原稿が掲載された場合にはそのまま巻末の執筆者連絡先に掲載される。そのため、職場のものでもかまわない。

(b) 送付原稿のキーワード 3～5 は、それにもとづいて審査委員数名を選定するために必要となる。

(c) 生年月日は、35歳以下の執筆者の論文がドイツ語学文学振興会賞、36歳以上の執筆者の論文が日本独文学会賞の審査対象となるため、必要である。

7) 欧文で投稿するときは、あらかじめしかるべきネイティブ・スピーカーにチェックしてもらうこと。

III. 審査

1) 上記の送付締切日までに到着したものについて、順次査読を行い編集委員会が採否を決定する。

2) 採否の結果については編集委員会での決定後、速やかに投稿者に連絡する。

IV. 原稿について

1) 原稿は原則として未発表のものでなければならない。ただし、口頭発表のみが先行している場合は可とする（申し込みの際にその旨、明記すること）。既発表のものを根本的に改稿した場合には、どこが根本的に改変されたか、前に発表した論文名や書名とともに正確に記さなければならない。

2) 日本語による論文、研究ノート、研究文献概観にはドイツ語のレジюме（800語以内）を添える。ドイツ語による論文、研究ノート、研究文献概観には英語またはドイツ語のレジюме（300語以内）を添える。ただし、レジюмеは本文の分量には含めない。マルジナリア、フォーラム、書評と新刊紹介にはレジюмеは不要。

3) 原稿は MS-Word（国内刊行誌への投稿の場合は一太郎 [Ver. 10 以降] も可）を用いて作成し、電子ファイルを編集委員会に送付する。パソコンを使わない方は、業者などにパソコン入力を依頼すること。手書き、タイプライター、ワープロ専用機による原稿は受け付けられない。

4) 原稿執筆にあたっては、後掲の「執筆要領」の各項に留意すること。

V. その他

1) 「研究ノート」には、大胆な構想を打ち出したもの・現在計画中の論文の構想を記したものなどが掲載される。

2) 「マルジナリア」には、日本やドイツ語圏における最近の文学・文化および文学・語学研究、ドイツ語教育の動向に関するエッセイが、「フォーラム」には最近出版されたドイツ文学・語学・教授法関係の研究書・翻訳、および「**Neue Beiträge zur Germanistik** ドイツ文学」に発表された論考に関する批判的な見解や提言などが掲載される。

3) 「研究文献概観」は、ある作家やあるテーマに関する過去の研究動向や、参照すべき文献に解説を添えて記したもの。

VI. 執筆分量

	和文：用紙 A4， フォント MS 明朝体， ポイント 12 P， 余白は左右上下とも 2 cm， 1 枚あたり 40 字× 30 行。レジユメの書式は右掲「欧文」のそれに従う。	欧文 (auf Deutsch) DIN A4, Seitenränder: 2 cm, Schrift: Times New Roman, 12 P, 30 Zeilen
論文	16 枚以内， 18,000 字以内， Resümee: maximal 800 Wörter	maximal 18 Seiten, 8.000 Wörter, Resümee: maximal 300 Wörter
研究ノート	13 枚以内， 14,000 字以内， Resümee: maximal 800 Wörter	maximal 15 Seiten, 7.000 Wörter, Resümee: maximal 300 Wörter
研究文献概観	16 枚以内， 18,000 字以内， Resümee: maximal 800 Wörter	maximal 20 Seiten, 9.000 Wörter, Resümee: maximal 300 Wörter
マルジナリア	9 枚以内， 10,000 字以内	maximal 10 Seiten, 4.500 Wörter
フォーラム	6 枚以内， 6,000 字以内	maximal 4 Seiten, 2.000 Wörter
書評	6 枚以内， 6,000 字以内	maximal 4 Seiten, 2.000 Wörter
新刊紹介（国内刊行誌のみ）	2 枚以内， 2,000 字以内	nur auf Japanisch
書誌（国内刊行誌のみ）	50 枚以内， 60,000 字以内	nur auf Japanisch

* 枚数と文字数・語数の規程の両方を遵守すること。

* 脚注のフォントも本文と同じとし，脚注の文字数・語数も本文の分量に算入すること。

* 図版（モノクロに限る）を入れた場合には，その分だけ枚数を減らすこと。ただし，図版内の文字数・語数は，本文の分量には算入しない。図版も電子ファイルで送付すること。

VII. 著作権

著作権は著者と日本独文学会の共有とする。刊行から 1 年を経た後，日本独文学会理事会の承認を得て転載可能とする。

VIII. 投稿原稿送付先

投稿は郵送ないしは電子メール添付ファイルによる送付いずれか，あるいは双方による。

・ 郵送の場合

170-0005 東京都豊島区南大塚 3-34-6， エースビル 603

日本独文学会

なお封筒には希望審査部門（「文学・文化」「語学」「教授法」のいずれか）と原稿のジャンルとを必ず朱筆すること。

・ 電子メールによる送付の場合

URL: <http://www.jgg.jp/mailform/beitrag/index.html>